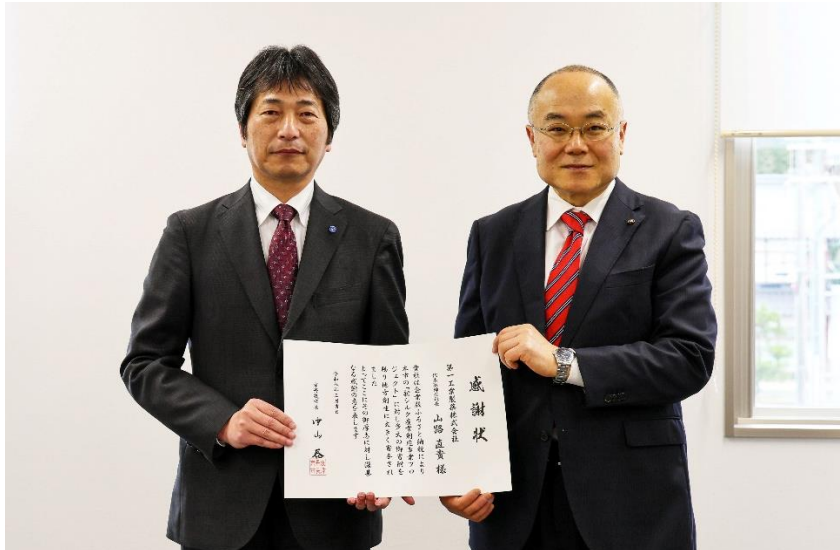


2年連続！第一工業製薬株式会社様から 企業版ふるさと納税制度を活用した寄附をいただきました

京丹後市(市長:中山 泰)は、第一工業製薬株式会社様(代表取締役社長:山路 直貴)から企業版ふるさと納税制度を通じ、「新シルク産業創造事業プロジェクト」^{*1}に寄附を賜り、令和 8 年 3 月 26 日(木)、同社に感謝状を贈呈しました。同社からの寄附は、昨年度に引き続き 2 年連続となります。



(写真):感謝状贈呈式 :左から 西口 勲 ライフサイエンス本部長、中山 泰 京丹後市長

企業版ふるさと納税^{*2}は、国が認定した地域再生計画に位置づけられる地方公共団体の地方創生プロジェクトに対して企業が寄附を行った場合に法人関係税から税額控除する仕組みです。また、税額控除を受けられるだけでなく、本市の事業を支援することを通じて社会課題の解決につながる取り組みです。

今回寄附を賜りました第一工業製薬株式会社様は、100 年以上前に京都市で創業され、当時の主要産業であった繊維業において、絹糸の製糸に欠かせない蚕繭解舒液の製造を手がけられたことを起源とされています。また、同社は現在、新たな事業として、カイコのサナギを栄養源とするハナサナギタケ冬虫夏草の研究とその成分を活用した健康食品「快脳冬虫夏草」の販売に取り組んでおられます。このような背景から、養蚕業の振興を支援するため、絹織物の伝統を有する本市へ温かいご寄附を賜ることとなりました。

第一工業製薬株式会社様からは、「京丹後の絹文化と新シルク産業の発展が、地域の未来につながる力となるよう、微力ながら貢献してまいります。」とのお言葉をいただきました。

この度賜りました寄附は、本市の伝統産業である絹織物の継承や絹織物を「核」とした新産業の創出支援に活用させていただきます。

今後も本市は、企業版ふるさと納税を通じて、絹織物業をはじめとする地域の産業振興に努めてまいります。

^{*1} 新シルク産業創造事業プロジェクトとは、日本最大の織物産地として、養蚕から織物及び多様なシルク製品の製造まで一貫した生産体制を構築する取り組みです。絹織物の川上分野にある「養蚕業」に注目するとともに、繭、シルク素材としての機能性に着目した新たな産業の創出や新シルク産業創造館への関連産業の集積により、将来に向けた産業育成を目指しています。

^{*2} 企業版ふるさと納税の制度概要は、内閣府及び京丹後市ホームページをご覧ください。

内閣府ポータルサイト https://www.chisou.go.jp/tiiki/tiikisaisei/kigyuu_furusato.html

京丹後市ホームページ <https://www.city.kyotango.lg.jp/top/soshiki/mayoroffice/hurusatoouen/2/18672.html>

本件に関する報道機関の問い合わせ先

京丹後市 市長公室ふるさと応援推進課 (担当:増馬)
Tel: 0772-69-1100 / E-mail: furusui@city.kyotango.lg.jp